

『障害者福祉に係る研修事業』

～特定非営利活動法人尼崎市身体障害者連盟福祉協会～

～平成30年度尼崎市自発的活動支援事業 実施報告～

特定非営利活動法人尼崎市身体障害者連盟福祉協会について

団体の概要

【団体設立】 1953年
2007年（※NPO法人に変更）

【会 員 数】 27人

【設立目的】

この法人は、尼崎市の障害者に対して、文化活動、スポーツ支援事業、障害者福祉に係る研修・広報・相談・レクレーション事業、福祉会館等公共施設の管理運営事業等を行い、障害者福祉の向上に寄与することを目的とする。

～平成30年度尼崎市自発的活動支援事業 実施報告～

実施目的

地域住民と尼崎市身体障害者連盟福祉協会と一緒に、他の障害について学び、交流を深め、共に社会活動へと繋げていき、障害者の福祉の向上を目的とする。

実施内容

障害者福祉に係る講演会～生きるよろこび、そして豊かな老いへ～

集団生活に中々馴染めないダウン症や自閉症の方への接し方などについて、講師である神戸女学院大学人間科学部心理・行動科学科准教授水本誠一氏が発足時から36年間携わっている、ダウン症や自閉症の障害児が中心メンバーとなって音楽活動を行う「楽団あぶあぶあ」での経験談をもとにお話していただいた。

【対象者】

尼崎市民等

【実施時期・回数】

平成31年3月17日(日) 13:30~15:00 | 回

【実施場所】

尼崎市立身体障害者福祉会館 1階 大ホール

【周知方法】

公共施設、関係団体へのチラシ掲示など

【参加者数】

総数82人(うち障害者 42人、その他地域住民等40人)



～平成30年度尼崎市自発的活動支援事業 実施報告～

事業の効果・課題などについて

実施して良かった点

発達障害のある青年たちと共に36年間歩んできた音楽活動などの公演の中で、『お互いを信じ合うことのできる“豊かな時”となっている』との講師の経験談は、福祉への理解と今後の社会活動に繋げることができた。また、障害を持っていても、すばらしい指導者に出会うと、このような演奏ができるようになるのかと感動した。私たちももっと頑張ろうと思いました。

反省・課題など

チラシを作成し広報したが、時期が少し遅かった。また、障害者関連団体と事業所、公民館等公共施設、会場の周辺地域へチラシを配布したが、枚数が不足した。

次回は、チラシの印刷枚数を増やし早めに広報したい。また、参加者への感想や意見などのアンケートを実施すればよかった。

今後の事業について

当協会と地域住民と一緒に、他の障害についてもっと学び理解を深めたいと考える。主たる経費の他に、情報保障のために通訳者謝礼費、点字資料などが必要となるので、経費上の問題を軽減できるよう本事業の助成を受けたい。

～平成30年度尼崎市自発的活動支援事業 実施報告～